



2017年 春号

社会福祉法人 慶和会
障害者支援施設 まどか園

福岡県大野城市大字瓦田127-48

施設長：寺崎敏也

編集・発行：広報委員会

TEL:092-504-6537 FAX:092-504-6536



↑「開園十五周年記念式典」にてご挨拶させていただいた施設長と利用者さん。この日の詳しい様子はP.2に掲載しています。

そして、次の15年も努力の15年になると思っています。

まどか園は、昨年10月で15周年を迎えました。この間、地域の方々のご協力を得ながら、役職員一丸となって、福祉サービスの提供に努めて参りました。わが国の障害者福祉制度は、平成15年の支援費制度スタートを皮切りに、「障害者自立支援法」の制定またこの法律を改正した「障害者総合支援法」の制定と矢継早の改革が進められてきました。さらにこの数年の間に「虐待防止法」「差別解消法」の施行もありました。まどか園の15年は実に改革の嵐の中の15年であったということが出来るでしょう。論語に「吾、十有五にして學に志す。三十にして立つ。四十にして・・・」という孔子の言葉があります。

これは、自分（孔子）は15歳で学問の道に進むことを決意し、30歳で独り立ちをしたという意味ですが、まどか園も30年に向けた次の15年を大切に、地域にしっかりと根付き地域の方々から愛され信頼される施設とならなければならないと思っています。具体的なこととしては、質の高い丁寧な介護の提供、安全で利用者が安心して暮らせる環境づくり、リハビリテーションの充実などがあります。また、これからの社会福祉法人には、経営の安定ということも求められています。私どもは、今後もたゆまぬ努力を続けていく所存ですので皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い致します。
〈施設長:寺崎敏也〉

10月
イベント

感謝、感激、雨、あられ
開園十五周年記念式典



↑上/筑紫中央高校・吹奏楽部の皆さんによる演奏は迫力満点。
左下/サングラスにエレキギターで気分はもうロックスターの利用者さん。右下/会場は和やかな雰囲気に包まれておりました。

ついに我が園も15周年を迎え、それを記念した式典を開催させていただきました。日頃お世話になっている方々への感謝状の贈呈、そして、長年頑張ってくれた永年勤続者の表彰といったプログラムから式は幕を開けました。それから会場を盛り上げてくれる様々なアトラクションがステージで披露され、中でも注目を集めたのは利用者さん6名にて結成されたバンド「乃木坂まどか園6」によるライブステージでした。グラミー賞顔負けの華やかなステージ衣装に身を包んだ利用者さんのサウンドは、笑いと感動の渦を巻き起こしておりました。その他、利用者さんのご家族による日舞、筑紫中央高校吹奏楽部の皆さんによる演奏など、皆さん本当にありがとうございました。この感謝の気持ちを忘れず30周年、いや100周年をめざして精進して参ります。

←柳哲子さまによる日舞「黒田節」は式典を気品の高いものへと誘ってくれました。



11月
イベント

食と芸術を同時に味わう秋に
焼きいも大会

農作業経験者でもあるボランティアの西山さんご指導のもと、我が園の裏庭ですくすく育ったサツマイモを'16年度も美味しくいただきました。味わったのは「安納芋」に「紅あずま」。今回は芋だけでなく実習生として来園されてた福岡女子短大の学生さんがフルーツ&ピアノ演奏を聴かせてくれるというサプライズも。いや～、食欲の秋と芸術の秋を同時に満たすことができました。ありがたや。



12月
イベント

伸びていいのはお餅と寿命
もちつき大会

皆さんの健康寿命がお餅のように長～く伸びますようにとの想いを込めて開催された恒例のイベント。利用者さんとちょっと高齢化ぎみの職員が汗水たらしてついたお餅を、釜蓋福祉会やご家族の皆さんに丸めていただききな粉やアンコ、砂糖醤油をかけていただきました。やっぱり自分たちでついたお餅の味は格別です。'17年度もこのお餅がつけるように利用者さんも職員も元気でいましょうネ。



12月
イベント

いろんな方が参上してくれました
クリスマス会



今回は八女の障害者支援施設「陽だまりの里」から井上さんが駆けつけてくれ素敵なバイオリン演奏を披露してくださいました。その後行われた我が園の職員による寸劇「白雪姫」にはなんと女装した男性職員「白雪オッサン」が登場するという始末…。なんだかクリスマスとハロウィンを同時に味わったような1日となりました。その他プレゼント贈呈にブッフエも楽しみ、聖夜を満喫しました。

2月
イベント

おたふくに負けない笑顔いっぱい
節分会

まずは豆に見立てたタマゴボーロを齢の数ほどいただきまして、おたふく面の前で記念撮影～。皆さん、おたふくに負けず劣らずの幸せいっぱいの笑顔を見せてくれました。この日の昼食には恵方巻も登場。もともとは大阪の海苔問屋から始まったというこの習慣も今や日本全国で見られるようになりました。我が園でももう恒例の行事食です。いや～、満腹万福。いろいろごちそうさまでした。



徒然
日記

日常のスナップショット。何気ない普段の生活もまどか園の大切な一日です。あんなことやこんなこともありました。



ペルーの楽団「リチャリー」が今年度も来園してくださり素敵な音楽を聴かせてくれました。



'16年度より始まったドッグセラピー。柴犬の「りんごちゃん」



「ふくしフェスティバル2016」に我が園のセンバツ音楽隊が参加。控室でもこの余裕の表情です。



裏庭で育ったでっかいサツマイモを収穫～。芋って終日寝かせた方が美味しくなるんだってね。



長年勤めてくださった看護師さんが退職(T_T)。命の恩人ともいえる存在だからね。涙涙よ。



ボランティアで木下様がそば打ちを見せてくださいました。ん～、打ち立ては香りが違いますな。



初詣はやっぱり大宰府天満宮でしょ。菅原道真様に願いをたんまりさせていただきました。



バレンタインデーにスイーツ・バイキングを開催。この日は糖脂肪分！気にせずいこーつ。

新装 開園

平成28年度の後半期も、利用者様により快適な生活空間を、職員が働きやすい職場環境をめざして、まどか園は様々な“改善”を試みました。



↑防音機能を施したALS室。様々な生活音が遮断された快適な空間をつくりあげました。

創立以来15年、施設の内外に改修が必要な箇所も出てきます。そういう箇所を指摘される度に、ただの改修ではなく改善をプラスして施工するよう努力しています。例えば、インフルエンザ等の発症による感染予防や様子観察が必要な方の為の居室には、今回の改修で多少の防音機能をプラスしました。これは少しでも静かで落ち着いた環境の中で病状を早く快方に向かって欲しいとの願いを込めた改善処置でした。

職員出入口にも風除室を設置しました。出入口付近の居室の利用者さん達から「職員の出入りに伴って冷たい風が入ってくるよ」との声を受けての改修工事です。「居室付近の暖房の効きが良くなった」という声を生み、改善が実感された工事でした。これからも改善を念頭に置いた改修を心がけていくつもりですので、ご指導のほど宜しくお願いします。



↑二重扉による風除室は、利用者さんからの評判も上々。

新人 歓迎

平成28年10月～平成29年4月に加わった新しい職員を紹介します。フレッシュパワーで頑張りますので名前と顔を覚えていただけましたら幸いです。

生活支援員



重松 聖

平成29年4月に入職しました。気を引き締めて、ひとつひとつしっかりと学んでいきながら頑張りたいと思っています。まだまだご迷惑をお掛けするとは思いますが、宜しくお願い致します。

生活支援員・音楽療法士



笠松杏美

平成29年4月に入職しました。生活支援員、さらには音楽療法士として、皆さまと楽しい日々を過ごしていきたいと思っています。明るく元気に頑張ってお参りますので宜しくお願い致します。

生活支援員



満武 徹

平成29年4月に入職しました。利用者さんと一緒に楽しく笑顔で毎日を過ごしたいと思っています。日々の経験を積んで、早く皆さんに認めてもらえるよう頑張ってお参りますので宜しくお願い致します。

看護師



浦田和子

平成28年10月に入職しました。早くまどか園での仕事に慣れて、利用者みなさんが笑顔で元気に過ごせるように健康管理をさせて頂きたいと思っています。なにとぞ宜しくお願い致します。

募集 告知



現在、まどか園では、通所（生活介護）および、短期入所（ショートステイ）ご利用希望の方を募集しています。詳しくはTEL092-504-6537までお問い合わせください。お待ちしております。

編集 後記

前回の広報誌にて新ホームページの紹介をさせていただいたのですが、早くもリニューアルしてしまった次第です(´-`); この広報誌をHPよりダウンロードできるようにしました。“まどか園”で検索していただくとどの検索サイトでもトップに出てくると思いますのでぜひご覧ください。4月からはよいよ「放課後デイ」も始まります。新生まどか園をどうぞご期待ください。〈編集部：浅草〉